

兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402



代表取締役社長

佃 維男



代表取締役専務

山本 琴一

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
- 2~3 財務ハイライト
- 4 財務諸表
- 5~6 事業概要
- 7~8 製品トピックス
- 9 トピックス
- 10 会社情報

表題 へんしも(土佐弁)の解説

「へんしも」とは土佐弁で「早く」「急いで」の意。
スピーディーな情報開示の想いです。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第47期第2四半期決算のご報告として「BUSINESS REPORT へんしも」をお届けいたします。

中期経営計画・第47期全社活動方針

当期は、中期経営計画(3ヶ年)「成長」の中間年度であり、重点実施事項としまして

1. 顧客信頼度強化：顧客信頼度強化こそが、
当社の更なる成長の根幹を形成する。
2. 人材の成長：人材の成長こそが、
企業価値向上/顧客満足につながる。
3. 新市場開拓：今後の更なる成長の為には、
新たな市場開拓が不可欠である。

に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月

営業の概況等

当第2四半期における我が国経済は、好調な米国経済を背景に輸出が持ち直し、企業活動は回復が続きました。一方、家計部門でも、夏場の天候不順による一時的な影響はあったものの、緩やかな回復基調にあり、全体として、底堅い内外需を背景に景気は回復基調が続いております。

当第2四半期は、総じて堅調な需要を背景に、活発な生産活動を維持いたしました。

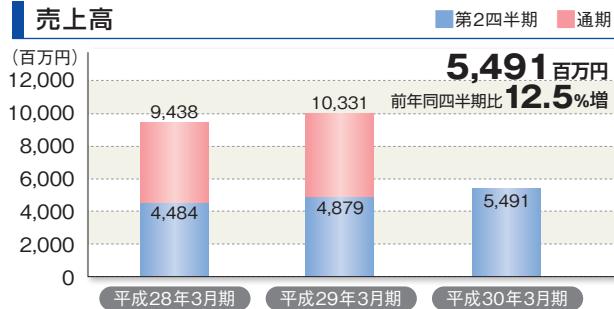
シャーシモデルの一斉変更前の駆け込み需要もあり、先行製作車の販売を中心に売上は順調に推移し、その結果、

前年同四半期に比べ増収・増益となりました。

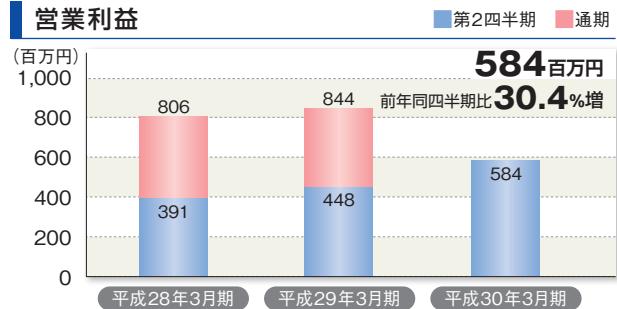
業績(数値)につきましては、前年同四半期に比べ受注高は286百万円減の4,966百万円(前年同四半期比5.5%減)、売上高は611百万円増の5,491百万円(前年同四半期比12.5%増)となりました。損益につきましては、営業利益は136百万円増の584百万円(前年同四半期比30.4%増)、経常利益は138百万円増の598百万円(前年同四半期比30.1%増)、四半期純利益は94百万円増の409百万円(前年同四半期比30.1%増)を計上することとなりました。

平成30年3月期第2四半期の業績ハイライト

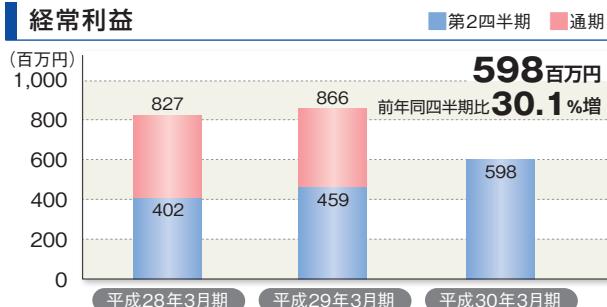
売上高



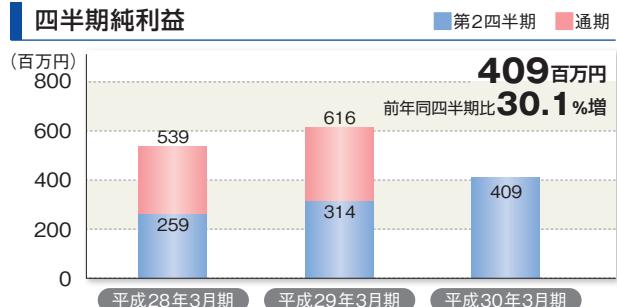
営業利益



経常利益

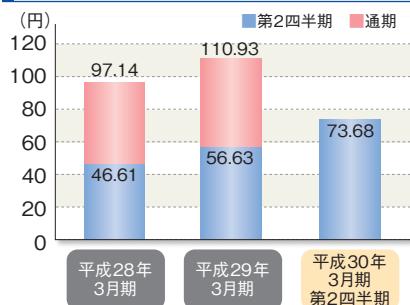


四半期純利益



財務分析指標の推移

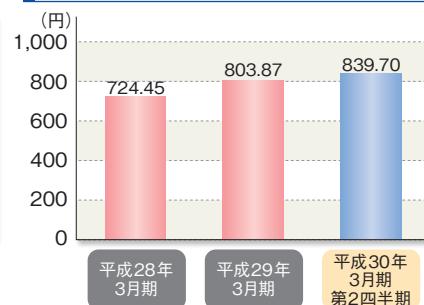
1株当たり純利益



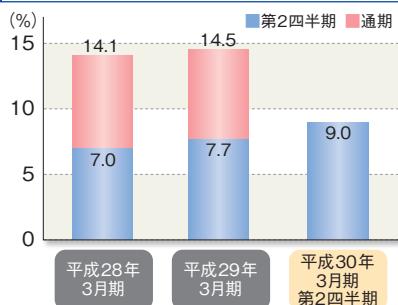
自己資本比率



1株当たり純資産



ROE (自己資本利益率)



PER (株価収益率)



PBR (株価純資産倍率)



通期業績予想

項目	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
通期予想	10,000百万円	820百万円	840百万円	580百万円	104円34銭

財務諸表

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当第2四半期末 (平成29年9月30日)	前 期 末 (平成29年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	6,521,040	6,325,274
固定資産	2,289,590	2,177,801
有形固定資産	2,024,706	1,926,601
無形固定資産	41,389	52,600
投資その他の資産	223,493	198,599
資産合計	8,810,630	8,503,076
(負債の部)		
流動負債	3,935,548	3,841,760
固定負債	207,188	192,768
負債合計	4,142,737	4,034,529
(純資産の部)		
株主資本	4,659,636	4,461,306
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	3,991,744	3,793,414
自己株式	△1,828	△1,828
評価・換算差額等	8,256	7,240
純資産合計	4,667,893	4,468,547
負債純資産合計	8,810,630	8,503,076

損益計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	5,491,113	4,879,404
売上原価	4,121,707	3,638,092
売上総利益	1,369,405	1,241,312
販売費及び一般管理費	784,995	793,127
営業利益	584,409	448,184
営業外収益	14,132	11,679
営業外費用	154	23
経常利益	598,388	459,840
特別利益	46	18
特別損失	181	86
税引前四半期純利益	598,252	459,772
法人税等	188,689	144,967
四半期純利益	409,563	314,804

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	833,858	484,393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△459,622	△142,516
財務活動によるキャッシュ・フロー	△207,204	△179,517
現金及び現金同等物の増減額	167,031	162,359
現金及び現金同等物の期首残高	1,243,310	917,300
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,410,342	1,079,659

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

強力吸引作業車・汚泥吸引作業車

売上高 **3,912**百万円

国内では大きなシェアを占め、産業廃棄物等の収集運搬に用いられるとともに、様々な付加機能により用途を広げています。

〈用途〉

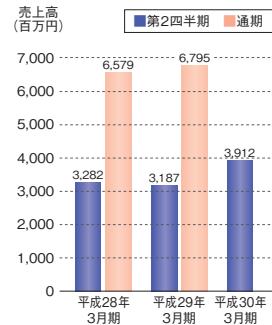
- 廃棄物の収集運搬
- 高揚程の汚泥回収
- 汚泥の長距離吸引



超強力吸引作業車 (SQ-16BVJP)



強力吸引作業車 (SM-05CVP)



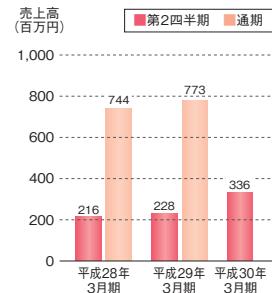
新製品等 / その他

売上高 **336**百万円

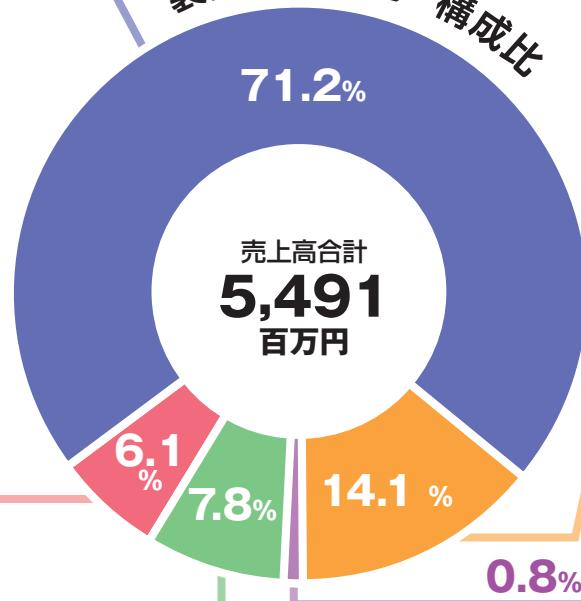
新製品や主要区分に属さない製品及び修理が含まれています。



減圧蒸留型抽出装置



製品別売上高 構成比



高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車

売上高 **771**百万円

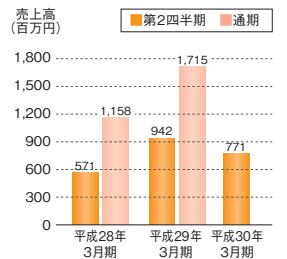
高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで市場に浸透しています。強力吸引作業車につぐ当社第2の主力製品となっています。

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-04W2320A)



粉粒体吸引・圧送車

売上高 **42**百万円

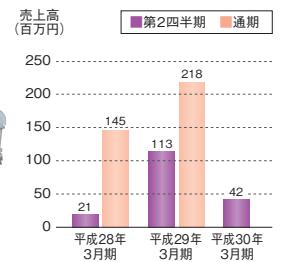
吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高揚程搬送を行います。

〈用途〉

- 石灰・セメント等粉粒体原料の回収・高所圧送



粉粒体吸引圧送車 (SQ-13DVYT)



部品販売

売上高 **428**百万円

当社製品に関連する部品の売上げです。



パワースライドノズル (回転式ノズル)



中間ジョイント (ホース接続ジョイント)



アタッチメント (吸引アタッチメント)



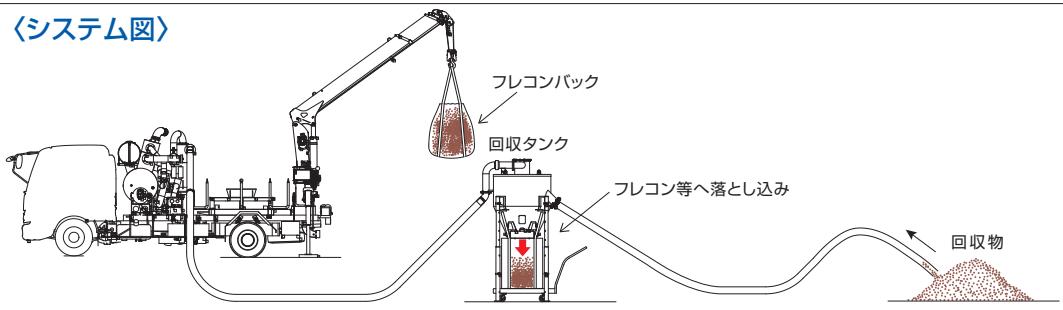
活性炭回収用 強力吸引作業車 (SM-04SVC)



特徴

本車両は活性炭の回収用強力吸引作業車です。
 車載クレーンにて、回収タンクの積み込みや車外設置及び荷物の移動が行えます。
 吸引時には回収タンクを車外に設置して使用し、吸引物はタンク下部に装着したフレコンバック等へ、落とし込みで回収します。

〈システム図〉



ショートホイールベース 強力吸引作業車 (SM-11CVJP)



ホイールベースが短く小回りが利くため、ダンプトラックと同じ現場で活躍できる強力吸引作業車です。
作業ホースの出し入れを容易にするため、車両前方のホースハンガーを下部に2本、上部に3本積載可能な二段構造としました。

乾湿切換 超強力吸引作業車 (SP-13DVFP)



本車両は、バグフィルターユニットを搭載し、バルブの切換え操作により、粉粒体・汚泥のどちらでも吸引が可能な超強力吸引作業車です。

風量50m³/minのプロワを架装、タンク容量は8.0m³を確保し、200LのSUS製水タンクを搭載しました。

第20期 K&E共栄会総会開催

平成29年7月に第20期K&E共栄会総会を兼松エンジニアリング(株)本社(高知市)で開催いたしました。本年度は18社の会員が出席して、前期の活動報告及び今期の活動計画等について協議を行いました。また20周年記念祝賀会が執り行われ、全会員に高知県産檜の感謝状と記念品を贈呈いたしました。



<K&E共栄会>

全国に22社あるサービス工場の組織



<感謝状>

減圧蒸留型抽出装置(ラボスケール機)を展示会に出展

注) ラボスケール機…研究室サイズのデモ機

減圧蒸留型抽出装置のラボスケール機を福岡・東京の展示会に出展して、弊社ブースにも多くのお客様が来場されました。来場されたお客様の中からは、精油の抽出依頼試験等もあり、今後の動向に期待を寄せるところです。

第 27 回西日本食品産業創造展



- ・出展場所: マリンメッセ福岡
- ・期 間: 平成29年5月17日～5月19日
- ・出展者数: 約200社
- ・来場者数: 21,033人
- ・弊社ブース来場者数 65人

FOOMA JAPAN 2017 国際食品工業展



- ・出展場所: 東京ビッグサイト
- ・期 間: 平成29年6月13日～6月16日
- ・出展者数: 約800社
- ・来場者数: 100,411人
- ・弊社ブース来場者数 191人

会社の概要

設立年月日	昭和46年9月1日
資本金	313,700,000円
従業員数	208名
事業内容	強力吸引作業車、高圧洗浄車等 環境整備機器の製造販売

役員

代表取締役社長	佃 維男
代表取締役専務	山本 琴一
取締役	柳井 仁司
社外取締役	西岡 啓二郎
社外取締役	清金 慎治
常勤監査役	中村 修身
社外監査役	平井 雄一
社外監査役	筒井 康賢

事業所

本社	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211
明見工場	〒783-0007 高知県南国市明見913-11 TEL (088) 864-1506 FAX (088) 864-1167
技術センター	〒783-0007 高知県南国市明見898-20 TEL (088) 864-1771 FAX (088) 864-2032
東日本支社	
東東京支店/ 西東京支店	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンノレイエ・オオタ6F TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333
東北・北海道支店	〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
札幌営業所	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル5F TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860
名古屋支店	〒462-0013 名古屋市中北区東味鏡1-702 TEL (052) 902-5538 FAX (052) 902-5525
西日本支社	
大阪支店	〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350
中四国支店	〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

株式の状況

会社が発行する株式の総数 17,576,000株
発行済株式の総数 5,558,786株
(自己株式5,214株を除く)

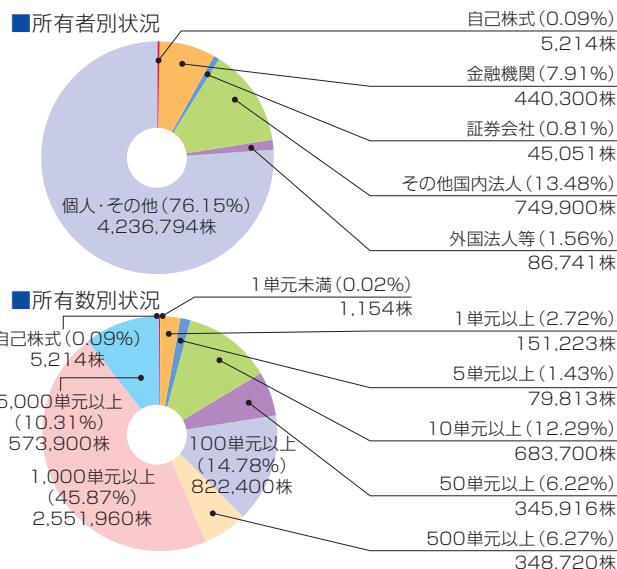
株主数 1,686名

大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社扇港鋼業所	573,900株	10.32%
兼松エンジニアリング従業員持株会	480,000株	8.63%
山本 琴一	463,200株	8.33%
山口 隆士	318,432株	5.73%
山本 吾一	262,860株	4.73%
三谷 恵美子	212,680株	3.83%
柳川 裕司	197,860株	3.56%
株式会社四国銀行	152,100株	2.74%
坂本 洋介	133,848株	2.41%
日本ラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	118,300株	2.13%

(注) 持株比率は、自己株式(5,214株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日(中間配当を行う場合は毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎.0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告(当社ホームページ URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

K&B 兼松エンジニアリング株式会社

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 〒781-5101 高知市布師田3981番地7

TEL.(088)845-5511 FAX.(088)845-5211

<http://www.kanematsu-eng.jp/>

280
古紙配合率80%再生紙



このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用しております。